

# とよみなみ



令和6年2月14日  
豊玉南小学校便り

令和5年度 学校評価特別号

## 令和5年度 教育活動アンケート集計結果報告

今年度もオンラインでのアンケートへのご協力ありがとうございました。皆様からいただいたご意見をもとに全体的な傾向を把握し、来年度に向けて教育活動に生かしてまいります。また、自由記述欄にも様々なご意見をいただきました。児童がよりよく学び、安心して生活できる学校づくりのために、次年度以降の教育活動の参考にさせていただきます。

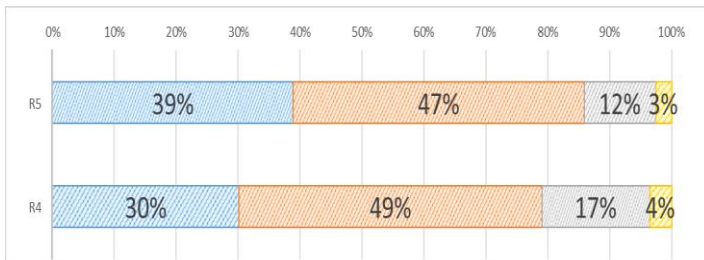
以下、4段階でご回答いただいた項目についてグラフにまとめました。

### グラフの見方

上段…令和5年度 下段…令和4年度

左から「とてもそう思う」→「そう思う」→「どちらとも言えない」→「そう思わない」

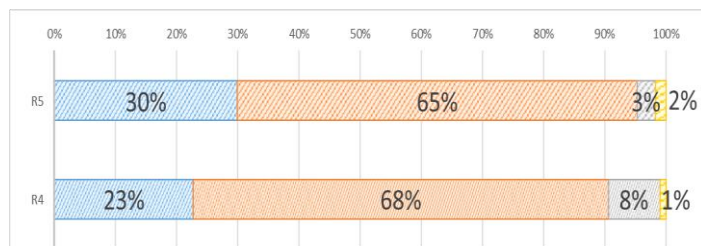
### 【問1】子供たちは、学校へ行くのが楽しいと言っている。



肯定的な回答が86%となり、昨年度よりも7ポイント上がりましたが、全7問の質問項目の中でも、「そうは思わない」と回答した割合が例年最も高くなる項目で、今年度は昨年度よりも1ポイント下がり3%でした。学校の楽しさは「友達と仲良くかかわる」「学びの楽しさを味わう」ときに実感することが多いと考えています。

教職員が子どもたちの様子をしっかりと見守り、寄り添って話を聞いていきます。引き続き学校では、友達とのかかわり方を学び、確実に学力を定着していけるように指導を工夫していきます。各ご家庭の協力を得ながら、児童相互のかかわりを大切にして魅力的な授業実践を重ね、誰もが楽しく通える学校づくりを進めてまいります。

### 【問2】学校は子供たちに基礎・基本をしっかりと教え、思考力・判断力・表現力が身に付く指導を行っている。



教職員の日々の指導改善の取組が95%以上の評価に表れ嬉しく思います。今年度の校内研究の主題を「教師も子どももわくわくする授業づくり」として、子どもが自ら学習課題を考え、その課題を解決するためにどのような方法が適しているかを考え解決していくことができるようにさせる指導を目指しています。その成果が

見られたのだと思います。来年度もこの主題のもと研究を進めてまいります。各教科の学習では、ICT機器をさらに活用できるように、他校の事例を参考にしたり、校内で研修をしたりして教職員の授業技術を高めております。

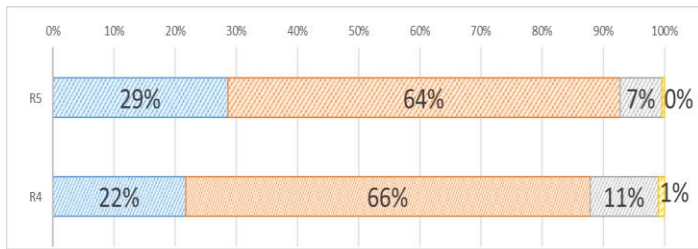
### 【問3】学校は、子供たちがお互いを理解し合い、学び合える関係づくりに努力している。



3年生以上にQUアンケートを実施し、個々の意欲や満足感、および学級集団の状態を質問紙によって測定し、よりよい学級集団づくりに活用しました。各学年の発達段階に応じた話し合い活動を計画的に行い、自分の言葉で伝えることや互いの考えを尊重することのよさを学んでいます。「考え議論する道徳」の授業改善によ

り、多様な考えを認め、学び合える関係づくりを進めています。元気会の活動では、6年生を中心に異学年の児童同士が互いに思いやりの気持ちをもって活動することができました。

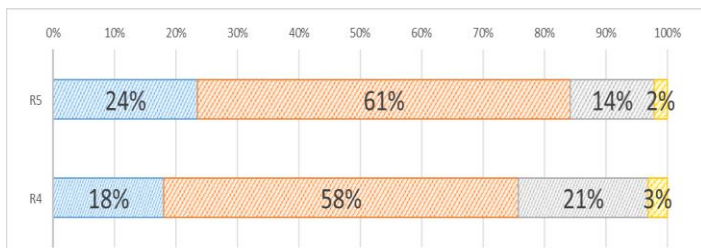
**【問4】 学校は、健康的な生活習慣を育み体力を高めるための指導を行っている。**



養護教諭が行う保健指導や保健体育での健康学習（3年生以上）、各学級での日常的な健康教育などにより、正しい知識を身に付け、自己の体調を意識して生活できるように指導しています。5月と12月には大縄旬間、1月にはマラソン旬間を全校で取り組み基礎体力の向上を図っています。6月に実施した体力調査では、

今年度も「ソフトボール投げ（投の運動）」「20mシャトルラン（持久力）」に課題が見られました。子供たちが日常的に運動に親しめるように取組を工夫し、引き続き健康の保持増進と体力向上に努めてまいります。

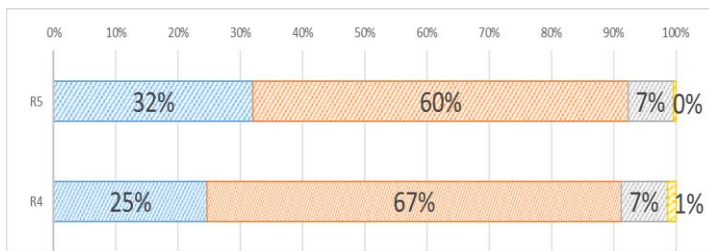
**【問5】 学校は子供たちの声に耳を傾け、一人一人に応じた適切な指導を行っている。**



肯定的な回答が、昨年度よりも9ポイント上がり85%となりましたが、学校としてさらに増えるようにしていかなくてはと感じています。全校児童一人一人の声に耳を傾けられるよう、担任をはじめ専科の教員、養護教諭、特別支援教室の巡回指導教員と職員全員で子供たちを見守る指導体制を整えていきます。5年生は

スクールカウンセラー、3年生は心のふれあい相談員による全員面接を行い、子供たちが不安や悩みを打ち明けられる機会も設定しました。今後も児童一人一人の声に傾聴・共感する姿勢を大切に、個に応じた適切な指導を工夫してまいります。

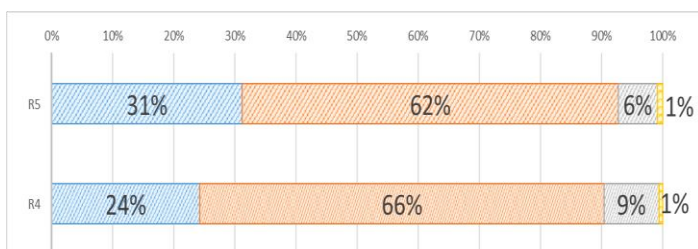
**【問6】 学校は基本的な生活習慣やあいさつなど、規律ある生活態度の指導を行っている。**



昨年度と同じ92%の保護者の皆様から肯定的な評価をいただきました。今年度は、「あいさつ運動」の際にはシールを活用して、さらに進んで挨拶ができるよう取り組んできました。毎週的生活目標を意識させ、道徳や保健の学習を中心に自己の生活を振り返る活動も行っています。挨拶や生活習慣につきましては、ご

家庭の協力も改善の大きな要因であると考えています。今後もより一層、地域やご家庭と協力して取り組んでまいります。

**【問7】 学校は保護者や地域と連携して子供の教育に当たっている。**



コロナ禍を終え、保護者・地域の皆様には、今年度は今まで以上に様々な場面でご協力をいただき、ありがとうございました。運動会や展覧会などの大きな行事には、PTAの役員の皆様をはじめお手伝いの保護者の皆様のご協力のおかげで、子供たちが充足感を得られる行事となりました。今年度もトミーズまつりやふれあい

広場など地域と連携しての行事も実施することができ、活気あふれる地域行事となりました。今後も皆様とより密に連携をして教育活動を進めてまいります。